

# 賞 状

## グループ会社優秀賞

AI技術を活用した

気象情報提供サービスの高度化

安藤 滋人 殿

2025年度 土木建築部門 R & D  
ワークショップにおいてあなたが  
発表した内容はまことに優秀であります

これは平素からのたゆまぬ努力と  
向上心の賜であると認められますので  
これを賞します

2026年 2月 2日

関西電力株式会社

土木建築室長 小倉 和巳

# 2025年度土木建築部門R&Dワークショップ表彰授与式にて



\* 前列左端が当社社員

# AI画像判定を活用した 気象情報提供サービスの高度化

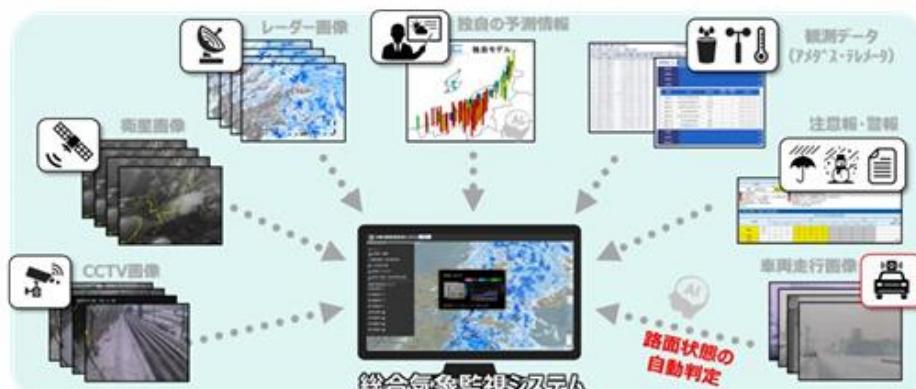
## ●はじめに

近年、建設業界の担い手不足が深刻化しており、業務の効率化・高度化が急務となっている。

また、建設業におけるインフラ維持管理の現場においては、現地情報が多岐にわたり、限られた人員での監視が困難となっている。

## ●課題解決に向けた[効率化][高度化]の取り組み

「多様な監視データ(CCTV、気温、雨量、降雪量) × 気象データ(気象レーダー、注意報警情報など) × 独自のAI画像解析」を融合し、現場の“いま”を一目で効率的に把握できるシステムの構築を行った。



- ✓ (効率化) 多様なデータを一元的に可視化し、監視効率を向上
- ✓ (高度化) 路面状態や危険箇所を自動で抽出・警告

## ●[高度化]に用いたAI技術の他領域への展開

目視から自動検出への高度化をキーワードに、画像データを活用したAI物体検知・判定を他分野での展開を試みた。



## ●まとめ

- ・(効率化) 現場の“いま”が見える化  
CCTV・走行車両画像・気象情報を一元化し、広域の現場状況を自動で可視化する仕組みを構築した。
- ・(高度化) 目視監視から、データ駆動型の管理へ  
AIによる客観的な判定結果を活用し、目視監視の負担を軽減、迅速な判断が可能となる仕組みを構築した。